

**第18回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会**  
**「遠山の金さん」の実像を語る**

2月23日、市立図書館（道場小路）で、「第18回中山義秀文学賞贈呈式・受賞記念講演会」が行われ、受賞作「涅槃の雪」の作者、西條奈加さんに正賞と副賞が手渡されました。

贈呈式後の記念講演会では、西條さんが「遠山金四郎の時代」をテーマに、テレビの時代劇で人気シリーズとなった「遠山の金さん」が生きた時代を語りました。参加者たちは、テレビでおなじみの人物の逸話に、興味深く聞き入っていました。



▲講演をする西條さん

**五箇中3年生が茶道を体験**  
**受験前にお茶とお菓子でリフレッシュ**

2月18日、茶道体験のため、五箇中の3年生20人が翠楽苑（南湖公園内）を訪れ、一連の作法を習いながら、お茶やお菓子を楽しみました。

学級委員の有賀ちさとさんは「翠楽苑には初めてきました。とてもきれいな所です。お菓子もお茶もとてもおいしかったです」と話していました。

翠楽苑を管理する（財）白河観光物産協会からは、受験の合格を祈願して、生徒一人ひとりに白河だるま（豆だるま）が贈られました。



▲真剣にお茶をたてる生徒

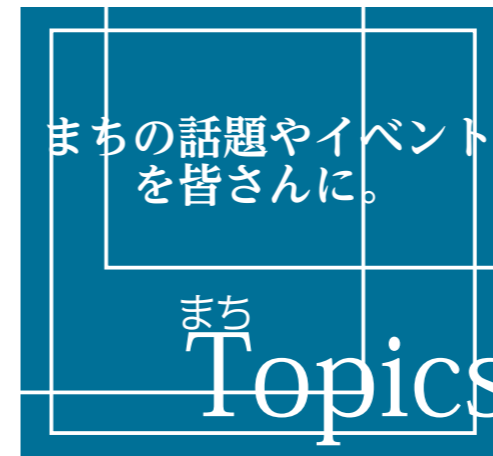
**体育・文化成績優秀者表彰式**  
**優秀な成績を収めた小・中学生61人を表彰**

2月20日、文化センター（中田）で、平成24年度体育・文化成績優秀者表彰式が行われ、体育競技や文化活動において優秀な成績を収めた小・中学生の児童・生徒、総勢61人にその功績をたたえ、賞状とメダルが手渡されました。

受賞者を代表して、宮尾和佳奈さん（白二中3年）が「指導してくださった先生と、支えてくれた家族に感謝します。この気持ちを忘れず、今後も頑張っていきます」と話していました。



▲表彰を受ける生徒たち



▲展示解説会の様子

**特別企画展「白河だるまと全国のだるま」**  
**多彩な顔ぶれのだるまが大集合**

歴史民俗資料館（中田）では、3月10日まで、特別企画展「復興祈願！七転び八起き・開運招福 白河だるまと全国のだるま」が開催されています。会場には、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から約400点を超える多彩な顔ぶれのだるまが並び、来場者の目を楽しませています。

また、「白河だるま市」にあわせ、2月11日にはだるまにちなんだイベントを開催、全日本だるま研究会会長の中村浩訳さんが「達磨から“だるま”へ～千数百年の遙かな旅～」と題し、だるまの歴史を講演したほか、現代美術家の山本伸樹さんが講師を務めた「福興だるま絵付けワークショップ」では、参加者たちが思い思いにオリジナルのだるまの絵付けを楽しんでいました。



▲だるまに絵付けをする参加者

**歴史まちづくりシンポジウムを開催**  
**様々な視点から歴史資源の活用策を探る**

2月9日、市立図書館（道場小路）で「城下町白河における歴史まちづくり」～足元に残る資源の再発見とその活用策を探る～と題し、歴史まちづくりシンポジウムが開催されました。

全国の歴史まちづくりに関する話題提供に続き、基調講演やパネルディスカッションが行われ、城下町白河の歴史資源の活用策について様々な視点から意見が寄せられました。来場者は200人を超え、熱心に耳を傾ける姿が見られました。



▲パネルディスカッションの様子